研究活動推進委員会およびプロジェクト研究センターの研究助成・重点分野にかかる基本方針

研究活動推進委員会（プロジェクト研究センターを含む）が実施する研究助成の趣旨は、教員の研究活動を支援し、その結果として得られた成果により、学術研究を推進するばかりでなく対外的な大学の評価を高めることにある。すなわち、研究業績を挙げることで文科省からの予算配分額の増加、企業・地域からの共同研究等による外部資金額の増加が見込まれ、また、研究成果を対外的にアピールすることで受験生・大学生・博士研究員などの評価が高まり、志願倍率の増加、優秀な大学院生や博士研究員の獲得に繋がると期待される。これらの相乗効果により、さらに研究成果が挙がり評価が高まると予想される。研究活動推進委員会の研究助成は、このサイクルを回すための支援である。

研究助成については、現有の人員・設備で成果が期待できる研究から始め、助成した研究が次にステージに上がったところで、新たに別の研究を助成することで、研究活動全体のアクティビティを上げ、維持することが重要である。従って、重点的に支援する研究分野については、適宜更新していくことが望ましい。

以上の基本的な方針の下、別表に記載の研究助成を行う。なお、対象とする研究分野については上述のように適宜更新することから、別表は定期的に改訂する。また、全学で開始した研究ファーム制度においてクロスファームに採択された研究については、次のステージに上がったと判断し、工学部としての助成を終了する。

別表

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 助成分類 | | プロジェクト研究センター | | | 研究活動推進委員会 |
| 重点研究 | | 次世代研究 | 研究環境整備 |
| 拠点化 | 工学連携 |
| 申請要件  （メンバー構成） | | 中人数（部局間） | 中人数（部局内） | 少人数（制限無） | 個人 |
| 評価項目 | 業績 | ◎ | ◎ | ○ | ○ |
| 将来性 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| アピール度 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ |
| 支援額（期間） | | 大（2年間） | 大（2年間） | 中（1年間） | 小（１年間） |
| 助成対象・目的 | | ・文科省向けの成果報告が期待できるもの  ・外部資金獲得の援助 | ・工学部として注力するもの（積極広報）  ・拠点化を目指すもの | ・重点研究を目指すもの | ・新任教員のスタートアップを支援し、研究成果が出始めるまでの期間を短縮 |
| 対象分野  （キーワード） | | ・遠赤外領域開発・応用研究  ・原子力安全工学 | ・繊維・機能性材料工学  ・エピジェネティクス研究 | ・グリーン半導体  ・データサイエンス・AI  ・地域共創  ・新規分野（幅広く公募） | ・分野を特定しない |
| 採択数等 | | ・拠点化と工学連携を合わせて３～４件程度  ・クロスファームに採択された研究は助成対象から除外 | | ・6～7件程度  ・クロスファームに採択された研究は助成対象から除外 | ・4件程度 |
| その他 | | ・適宜、分野を見直し  ・クロスファーム候補 | ・2年毎に分野を見直し（基本的に次世代研究から選抜）  ・クロスファーム候補 | ・2年毎に分野を見直し | ・赴任後2年以内を対象  　但し、支援は1回限りとす  　る |